

「コミュニティのメンバーが上手くやっていく方法」を、みんなで話し合い、創り、実践していく

男女共同参画の視点が及ぶ範囲は家庭、学校、職場、地域と広く、生老病死とも関係していることが多いと思われまます。つまり、ほとんど全ての人が何らかの形で男女共同参画に関係する事柄の当事者になるわけです。そのうえで、例えば2023年の世界経済フォーラムのジェンダー・ギャップ指数で判断する限り、日本は146か国中125位と私たちのジェンダー平等は低迷している状態です。

高知大学に男女共同参画推進室が設置されて今年で12年目となります。この12年の間には、女性活躍推進、働き方改革、男性の育児休業、SOGI(「性的指向と性自認」)の多様性、ジェンダーとSTEAM教育(Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics)など、広く男女共同参画やダイバーシティ(多様性)が注目されるようになってきました。その一方で、誰もが当事者になりうる男女共同参画の領域は、私たちの「過去ー現在ー未来」という時間軸や世代間協力が影響することもあり、「前例踏襲」「成功体験」の変革には時間を要することも実感しました。

男女共同参画の取組を進める上で、私が気に入っている高知大学の理念・方針(平成24年2月制定)は「男女共同参画を大学で実践し、教育につなげ、そして社会にひろげる」という考えです。歴史を遡り、俯瞰することで、年功序列、終身雇用、長時間労働のような日本の労働慣行やいわゆる「専業主婦」も、熟練労働者の転職の抑制やライフイベントに影響されにくい「労働者」を長時間働かせることが利益に直結した高度経済成長期のような条件下で創られた考え方や制度であって「不変ではない」ことが分かります。

さて、大学には様々な学問の視点を持った教職員が集まっています。洋の東西、時空を超え、定性的・定量的に現象を分析できる人材が集まっています。そして、その研究者も家庭、職場、地域などにおける男女共同参画の当事者と言えます。その当事者たちが「大学で実践し、教育につなげ、そして社会につなげる」ことから生まれた価値や行動は、同じキャンパスで学ぶ学生や地域社会にとっても共有されていくに違いありません。

私は男女共同参画の講義で「倫理」という言葉を使います。「倫」は「仲間・メンバー」という意味ですね。「理」は「理屈・ことわり」のようなものです。つまり、倫理は「コミュニティのメンバーが上手くやっていく方法」と考えられます。コミュニティのメンバーが変われば「上手くやっていく方法」も変わってよいわけです。私たちが進む未来の職場や地域も含めたコミュニティはどのようなメンバーがいるでしょうか。かつて男性だけだった職場には女性が多くいるでしょう。かつて日本人だけだったコミュニティには外国人が多くいるかもしれません。まずは、大学というコミュニティが男女共同参画について話し合い、協働しながら、前例踏襲に拘らずに「上手くやっていく方法」を創り、実践していきましょう。

男女共同参画推進室長 廣瀬 淳一



令和5年度 高知大学女性研究者奨励賞の授与式を行いました！

受賞者 西森 美貴 助教(医学部放射線診断・IVR 学講座)

令和6年2月1日に高知大学女性研究者奨励賞授与式を行いました。

この賞は優れた研究を展開している女性研究者を表彰することにより、女性の研究意欲及び挑戦力を高め、未来を牽引する研究の促進を図るとともに、女性研究者の活躍の場を広げ、女性研究者にとって魅力的な大学とすることを目的とします。今年度受賞の西森助教は、令和4年6月18日に広島で開催された第56回日本核医学会中国・四国地方会において演題「18F FDG-PET/CTの視覚的評価による早期肺腺癌の病理学的浸潤性の予測」を発表し、玉藻賞を受賞しました。

この賞は第56回日本核医学会中国・四国地方会において会員から演題を募集し、発表を認められた7演題のうち、審査員から高い評価を受けた1演題に贈られたものです。西森特任助教は18F FDG-PET/CTの視覚的評価が浸潤性肺腺癌と低浸潤性肺腺癌を術前に予測し得ることを発見し、学会で発表しました。この研究成果は今後、肺癌患者さんのより良い治療法の選択への活用が期待されます。



「性的指向・性自認(SOGI)の多様性」における事例・事案収集アンケートについて



本学では、多様な性的指向や性自認=SOGI(Sexual Orientation and Gender Identity)への理解を深め、本学の学生・教職員等構成員のSOGIに関することさらに配慮するとともに、個人の意思・選択を尊重し、安全安心に修学・就労できる環境づくりを目指します。

令和4年1月策定の「高知大学におけるSOGIの多様性に関する基本方針」に基づき、大学における「SOGIの多様性」を考え環境改善をはかるため、過去の事例や現在の問題事案を収集することとしました。つきましては、以下アンケートフォームより情報提供にご協力をよろしくお願いいたします。

なお、個人が特定されうる情報についてはプライバシーの侵害になります。あくまでも環境改善の目的に見合う事例・事案としてご報告いただけますよう、よろしくお願いいたします。

○対象者：高知大学教職員・学生

○アンケートフォーム：<https://forms.office.com/r/sB8jMmDcSB>

回答者の個人情報が特定されないかたちで行います。

※複数ご報告いただく場合は、一件ずつ送信をお願い致します。

また、個別にご相談をご希望される際は、まずは男女共同参画推進室へご連絡ください。



カトラッチャー —自分が関わってきた国や人々への想いを大切に—

今井さんは愛媛県出身、愛媛大学教育学部を卒業後すぐに青年海外協力隊に参加し、中米のホンジュラスに算数指導のボランティアとして派遣されました。

周囲からはホンジュラスの治安を心配する声もありましたが、実際に行ってみないとわからないこともあるよねという言葉に背中を押されて、参加したそうです。当時はとても心配していたご家族も今はホンジュラスの大ファンだとのこと。

今井さんは小学校で児童や先生に算数を指導しながら、実は学校の外の風景、貧しさの為に学校で学べない子どもたちのことが気になったそうです。自分にできることは何かと1年間ほど考えていた時に、街のカフェである女性との出会いがありました。コーヒー農園の生産者でカフェのオーナーであるナンシーさんです。

講演会では、参加した学生から現地でのコミュニケーションの大変さや、ビジネスの苦勞について質問がありました。今井さんからは、「初めて使うスペイン語なので確かにコミュニケーションが難しいところもあったものの、コミュニケーションは実は人間関係と気づいてからは上手くいくようになった」



「ビジネスも考えてみれば大変なこともあったように思うが、実は楽しんでやっているのでもいゆる苦勞はあまり感じなかった」という回答がありました。

最後に今井さんから、「やりたいことの構想を考えたら、あとはご縁を大切にしながら目の前のことを一つ一つ丁寧にこなすことが大切で、「人」「タイミング」「場所」が上手く揃った時に物事が進む気がします。やりたいこと好きなことが分からない時は「こちよいいこと」をやってみることが良いのではないのでしょうか」という主旨の助言がありました。

今井さん、貴重なお話有難うございました。

メッシュワーク的に編むキャリア： トンガのフィールドワークから企業との協働へ



講師に合同会社メッシュワークの共同創設者であり、人類学者の比嘉夏子さんをお迎えして、「メッシュワーク的に編むキャリア：トンガのフィールドワークから企業との協働へ」というテーマでお話いただきました。参加者はトンガ王国のお話に惹きつけられながらも、比嘉さんが語る「人類学の視点」を取り入れたOS(オペレーション・システム)をインストールして身近な社会を見ることの意味、それを企業が求めている様子を掴んでくれているようでした。

ネットワークは点と点を結び、最短距離を効率的に移動するイメージだけれど、メッシュワークははじめに線があって蛇行しながら結び目を作っていくというイメージ、という比嘉さんの言葉が印象的でした。

学生もメッシュワーク的に考えることで、途中の景色を楽しむ余裕を持ったキャリア設計もいいなあと感じたようです。

また、会社の名前を考える際に、著書から感銘を受けたというイギリスの人類学者ティム・インゴルドさんに、比嘉さんがはじめてEメールで相談したというエピソードに、想いを伝える勇気や行動の大切さに気づきを得たようです。

次は、FD・SD(教職員研修)で、メッシュワークの手法を用いた組織改善のワークをお願いしたいです。

比嘉さん、興味深いお話をどうもありがとうございました！



令和5年度

ロールモデル講演会

高知大学女性研究者奨励賞

本学で優れた研究を展開している女性研究者を表彰することにより、女性の研究意欲及び挑戦力を高め、未来を牽引する研究の促進を図るとともに、女性研究者の活躍の場を広げ、女性研究者にとって魅力的な大学とすることを目的としています。

2023年度 受賞者

西森 美貴 助教

(医学部放射線診断・IVR学講座)



国際学術論文投稿支援制度

女性研究者の研究力向上、および女性研究リーダー育成のために、外国語論文を執筆する女性研究者に投稿費または校閲費の補助を行う制度です。

2023年度 支援金額 5万円

2023年度 採択者

西森 美貴 助教 (医学部 放射線診断・IVR学講座)

ダイバーシティ推進共同研究表彰制度

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」で実施する「ダイバーシティ推進共同研究プロジェクト」で優れた功績を残された代表研究者に授与するものです。

2023年度 受賞者

高橋 由子 特任助教 (学び創造センター)

研究課題「就業上支援が必要な大学生に対する合理的配慮と授業のユニバーサルデザイン化 Tips の開発」



ダイバーシティ推進共同研究表彰制度

本事業では、女性研究者が研究代表者として取り組む共同研究に対して助成を行います。女性研究者のリサーチマインドを高め、地域や社会の問題・課題解決につながる優れた研究成果の持続的創出をはかることを目的とします。

2023年度 支援金額 50万円

2023年度 採択者

越智 里香 助教

(総合科学系複合領域科学部門)

研究課題「刺激応答性超分子ヒドロゲルのならびにVCD法によるキラリティ測定」

ライフイベントからの復職支援制度

過去2年度以内にライフイベント(妊娠、出産、育児、介護)のため休業又は産前・産後休暇、もしくはその両方により、3か月以上やむを得ず研究活動を中断した方の研究を支援します。

2023年度 支援金額 10万円

2023年度 採択者なし



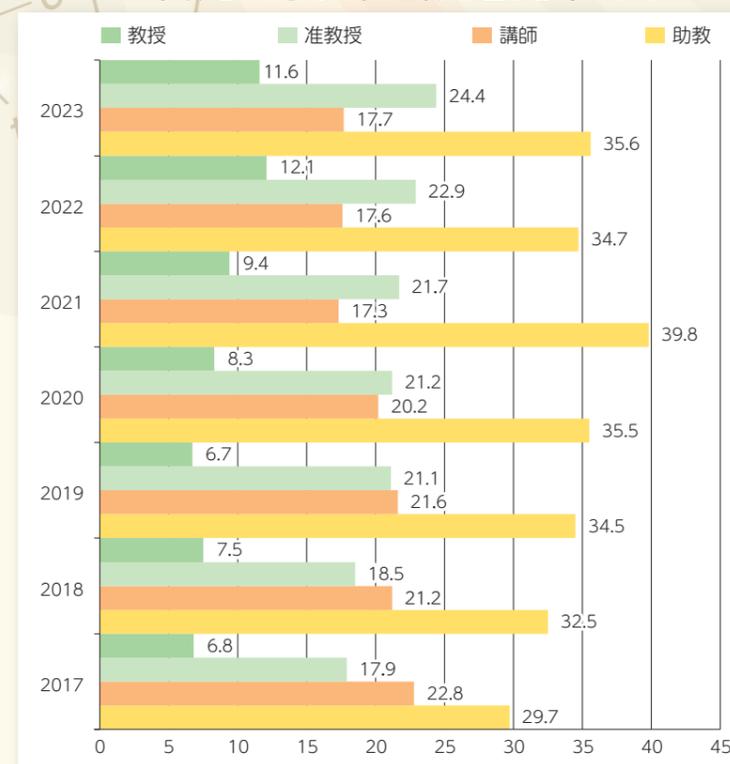
文部科学省 科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」事業

平成30年に四国国立5大学及び公設研究機関等が申請した文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」に採択され、『四国発信!ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクト』を立ち上げました。このプロジェクトは、女性研究者や若手研究者が活躍しやすいダイバーシティ研究環境の実現と同時に、四国地域の問題・課題につながる研究から、世界の人々への貢献に発展する研究を目指し、四国地域の産学官が連携して取り組むものです。このプロジェクトが令和6年3月に終了します。

本学に男女共同参画推進室が設置されたのが平成24年(2012年)の「辰年」でした。そして、今年、令和6年(2024年)は再び「辰年」です。先の12年は、男女共同参画の推進の時代でした。辞書に拠れば、推進とは「前に押し進めること」「事業を達成するように努めること」とあります。この主語は何でしょう。政府、地方自治体、あるいは大学だったかもしれません。この12年間に、男女共同参画は多くの人にとって他人事ではなくなったことでしょうか。出産・育児、介護・ケア、教育・研究、キャリア、性的指向・性自認の多様性など様々な場面で男女共同参画の視点が必要です。男女共同参画が関係する範囲は家庭、職場、地域など幅広く、誰かが推進するものから、私たちが日常的に行うものになりました。

辰年に始まる次の12年は男女共同参画の「推進」ではなく、その視点を正規のシステムに「ビルトイン(内部に一体として組み込まれている)」していくことです。男女共同参画の実現はジェンダー研究の専売特許ではなく、多くのディシプリンの中でその視点が意識的に取り入れられ、諸制度に落とし込まれていく状態が大切だと思います。多様な分野の知性が集まる大学です。男女共同参画社会の実現に向けた四国5国立大学の協働にこれからも期待しております。皆さま引き続きのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

高知大学女性研究者比率 (%)



共通教育科目「男女共同参画社会を考える」

2023年9月11日(月)～16日(土)に、集中講義「男女共同参画社会を考える」を開講しました。この授業では、男女共同参画社会について日本社会の実現的課題を通じて、法学・ジェンダー論・家族論・哲学・社会学など人文社会科学の多様な観点から学びます。女性や男性といった性別にとらわれることなく、自分らしく生きるにはどうしたらいいのか、生き方とキャリアについて考えます。

日程	講義	担当教員
9/11(月)	2限 ガイダンス「男女共同参画社会とは何か」	廣瀬 淳一 先生(安全・安心機構)
	3限 「男女共同参画とワークライフバランス」	宮井 千恵 理事(ワークライフバランス担当)
9/12(火)	2限 「育児から見た男女共同参画」	岩佐 和幸 先生(人文社会科学部)
	3限 「アンコンシャス・バイアス」	玉城 直美 先生(榑うな沖縄代表)
	4限 「地域における男女共同参画」	佐藤 洋子 先生(地域協働学部)
9/13(水)	2限 「家族から見た男女共同参画」	森田 美佐 先生(教育学部)
	3限 「憲法で学ぶ男女共同参画」	小西 葉子 先生(教育学部)
9/14(木)	2限 キャリアセミナー①	児美川 孝一郎(法政大学教授)
	3限 キャリアセミナー②	児美川 孝一郎(法政大学教授)
	4限 キャリアセミナー③	廣瀬 淳一 先生(安全・安心機構)
9/15(金)	2限 「デートDV 講座」	岡田依里さん、米花妙さん(こうち男女共同参画センター「ソーレ」)
	3限 「大学と男女共同参画」	廣瀬 淳一 先生(安全・安心機構)
9/16(土)	2限 「世界に学ぶ男女共同参画」	中川 香代 先生(人文社会科学部)
	3限 「過労死に関する講演①」	中川 香代 先生(人文社会科学部)
	4限 「過労死に関する講演②」	中川 香代 先生(人文社会科学部)

ダイバーシティ経営セミナー アンコンシャス・バイアス ～無意識の偏見とは何か～

9月12日(火)、男女共同参画推進室は「ダイバーシティ経営セミナー」を開催しました。今回のテーマは「アンコンシャス・バイアスー無意識の偏見とは何かー」です。講師に、株式会社うな沖縄代表の玉城直美さんをお招きし、沖縄と高知でZoomを繋いでの開催となりました。

冒頭、「アンコンシャス・バイアス」という言葉を初めて聞く参加者にもわかりやすい説明がありました。私たちが無意識に持っている偏見の存在についてクイズや参加者同士の意見交換を盛り込みながら、テーマにアプローチしていきました。クイズや統計資料の説明を聞いた学生は、例えば、職場の労働慣習や男性の育児休業の取得、キャリア形成などで50台、60代男性よりも20代男性の方がジェンダーに対するバイアスを持っているというデータを見て驚いた様子でした。講師からは、統計が示された項目だけでなく、私たちの身の回りには多様なバイアスがあって、常に意識してアップデートしていく態度が大切で、バイアスに捉われて諦めてしまったり、決めつけたり(「価値観の決めつけ」「能力の決めつけ」「解釈の決めつけ」「理想の決めつけ」)することから逃れるためにもアンコンシャス・バイアスに気づくことが大切とのコメントがありました。最後に、参加者によるグループでの話し合いの様子が共有され、参加者のテーマに対する関心の強さがうかがえました。今日のセミナーにはライブで48名の参加者がありました。



キャリアセミナー 児美川孝一郎先生

2023年9月14日(木)令和5年度「キャリア形成支援セミナー」を実施しました。このセミナーは、こうち男女共同参画センター「ソーレ」の支援を受けて、例年実施しているものです。「キャリア1」では、法政大学キャリアデザイン学部教授の児美川孝一郎先生をお招きしました。児美川先生からは、①「シューカツ」はわずか数年の出来事で、「キャリア」は長い人生を生きることを考える必要がある、②「シューカツ」は今ある社会の価値観を前提にしがちだが、「キャリア」は自分の芯、判断や行動の軸が大事である、③「シューカツ」は競わ



横田 恭さん

され、煽られる、「キャリア」は自分の個性や感じ方、多様性を考慮することが大切である、とのお話がありました。「キャリア2」では地域のロールモデル2人にご登壇いただき、それぞれのキャリアについて報告いただきました。株式会社技研製作所 横田 恭さんからは、会社の男性の育児休業支援の説明と共にご自身が5か月間の育児休業を取得した経験についてお話しいただきました。

高知大学農林海洋科学部の卒業生で、在学中から社会的起業をしている陶山智美さんからは、現在経営している子ども食堂「おすそわけ食堂まど」の経営を通じた「想いの実現」についてお話しいただきました。「キャリア3」では受講生同士で意見の交換や共有が行われました。学生たちは同じ年代のキャリアプランに同意したり、驚いたりした様子でした。



児美川 孝一郎先生



陶山 智美さん

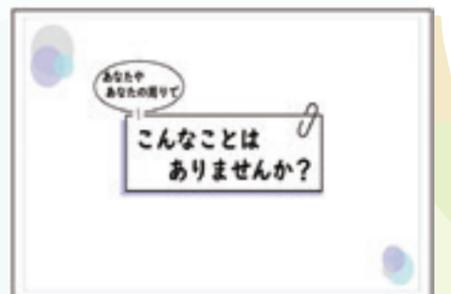
デートDV 講座

2023年9月15日(金)、こうち男女共同参画センター「ソーレ」との共催で、「デートDVセミナー」を開催しました。講師は「ソーレ」の職員2名(米花妙さん、岡田依里さん)が務めました。



はじめにデートDVに関する基礎知識について説明がありました。デートDVが及ぶ範囲が「メールへの返信」「メッセージへの即レス」「スマホのチェック」などを含む監視行動や行動制限も該当すると聞き、参加した学生は驚いていました。デートDVには「身体的暴力」だけでなく「精神的暴力」「経済的暴力」「性的暴力」「行動の制限」があるという説明に、学生の中には「該当しそうな知り合いの話を知っている」という声も聞かれました。講師からは「デートDVは男性から女性に行われる暴力だけだと思われがちであるが、男性が被害者となる事例も少なくはない」「ジェンダーの縛りや偏見に気づくこともデートDVを見極めるために大切」という「お話がありました」。

参加した学生からは「健全な関係性の大切さを改めて考えた」、「身近にある問題で、他人事ではないと感じた。友達にも寄り添えるようになりたい」、「男性も被害者になるということに気づかされた」等の意見が寄せられました。デートDVは自分や友だち、誰にでも起きうることであるものの、ということがデートDVに該当するかはセミナーで初めて知ったという意見も多くありました。大学としても同セミナーを継続的に実施していきたいと考えています。





休日入試等の一時的託児

本学の教職員を対象に、休日の入試やオリエンテーション等の実施日に一時託児室を設置しています。

令和5年度は、初めて物部キャンパスでも実施しました。利用者も実施回数も年々増加傾向です。詳しくは教職員グループウェアの募集案内をご覧ください。

令和5年度 (2023年度)	イベント		利用教員数	託児数
	自己推薦	7月 8日(土)	1	1
オープンキャンパス	8月 5日(土)	1	2	
	8月 6日(日)	2	3	
総合型選抜Ⅰ第2次選抜	10月14日(土)	1	1	
学校推薦型選抜Ⅰ	11月18日(土)	1	1	
	11月19日(日)	1	1	
大学入学共通テスト	1月13日(土)	1	1	
大学院修士課程2次試験	1月21日(日)	1	1	
前期日程試験	2月25日(日)	4	5	

ライフイベント休憩室

SANKA くんのおうち



どんどん
利用してネ!

SANKA くん

高知大学 男女共同参画推進室
しあわせぶんたん マスコットキャラクター

高知大学朝倉キャンパスの正門から左手にある袴クラブ1階に、ライフイベント中の教職員、学生が利用できる休憩室 SANKA くんのおうちがあります。授乳、搾乳、オムツ交換、お子さんとの休憩、子育て交流会などに利用できます。

利用時間：原則 平日 9時～16時30分まで

利用方法：人事課（本部管理棟3階）で鍵を借りて、ご利用頂けます。

国立大学法人 高知大学 男女共同参画推進室

〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号

TEL：088-888-8022 FAX：088-888-8023 E-mail：sankaku@kochi-u.ac.jp

